

金沢市歌

■大正12年5月30日制定(1923年)■

鴻 巢 盛 広 作詞
金沢市唱歌研究会 作曲



1. ふ たつ の な がれ ー と おな が く
2. ナ ーガ メ ツ キセ ヌ ケ ンロ ク ノ
3. ぶ んか の う しお ー は やけ れ ど



れ いた く す んで ー わ くと こ ろ
ソ ノニ ハ ヒ トノ ー カ ゲタ エ ズ
ち のり ひ と のわ ー か くる な く



い らか の か ずの ー ひ にそ いて
イ チビ ト ワ ザヲ ー イ ソシ メ バ
こ こほ く り くの ー ち ゆ うし ん と



お のず か ら なる ー だ いと か い
チ マタ ニ セ イキ ー ア フレ タ リ し
と わに さ か えん ー か なざ わ し

一 二つの流れ遠長く

靈沢澄んで涌く所

薨の数の日に添ひて

自らなる大都会

二 眺め尽きせぬ兼六の

園には人の影絶えず

市人業をいそしめば

巷に生氣溢れたり

三 文化の潮早けれど

地の利人の和欠くるなく

此処北陸の中心と

永久に榮えん金沢市

♪ 明るく元気に、うれしさを込めて歌いましょう

金融街南町 大8



主なことばの意味

<p>ふた なが 二つの流れ…犀川と浅野川の流れ</p> <p>れいざく 靈沢…兼六園にある湧き水「金城靈沢」</p> <p>いりか 薨…屋根瓦のことで、当時は屋根は板ぶきが多かった</p> <p>みんず 自から…もとからもっている 自然に</p> <p>けんろく その 兼六の園…兼六園のこと (宏大、幽邃、人力、蒼古、水泉、眺望の特色を兼ね備えている)</p>	<p>いちびと 市人 ……市で物を売る人から広く市民</p> <p>わざ 業 ……仕事</p> <p>まち 巷…まちの中</p> <p>ぶんか 文化の潮 ……文化の流れ</p> <p>ちのり 地の利 ……その土地のもっている特徴</p>
--	--